

11月30日(金)福島県立磐城高等学校 1年生39名が研修に訪れました

この研修は、福島県立磐城高等学校といわき商工会議所が連携し、高校1年生が「地域の課題」について学ぶために企業と連携した取り組みで、企業が地域や世界とどのように繋がっているのかを学ぶと同時に、働くことの意義や自分の将来について考えることを目的として行われました。

当事務所から事前に課題として提示していた「地域産業を支える小名浜港の役割」に対する生徒たちの発表後に、佐藤所長をはじめ、当所職員が講評を行いました。その後、バスで港内の各ふ頭を巡り、港湾施設などを見学しました。

生徒たちからは、「事前課題や講義、普段立ち入ることの難しい港内の見学を通し、小名浜港の役割や小名浜港の世界とのつながりについて学ぶことが出来た。」という感想をいただきました。



小名浜マリナブリッジを背景に写真撮影しました



生徒による発表の様子

